

ADVANCE

平成26年度 1年A組

神無月 / 20

学級通信 82 号

～ 一歩前へ進もう～

ネットトラブルから身を守る

金曜日に「ネットトラブル防止講演会」がありました。きっと今までにもインターネットやメールなどで、おかしなサイトにアクセスして困ったり、知らない人からメールが来て不安になったりしたときにどうしたらいいか、ということについては話を聞いたことがあると思います。今回は、それだけではなく、ネットやメールに依存しているとどうなるか、ということを実際に起きた事件を例にして話をしてもらいました。

短い時間でたくさんのお話を話して下さったので、頭に入りきらなかったかもしれませんが、その中でも「ゲーム脳」という言葉を何度も耳にしたと思います。先生の子供のころもよく「ゲーム脳」という言葉は聞いていました。「ゲームをやりすぎるとゲーム脳になるよ」と言われていたけれど、具体的にゲーム脳が何なのか、ということにはちょっとわかっていませんでした。講演で、冷静に考える前に行動に走ってしまったり、大きな声で騒いだりしてしまうことがあるということ聞いて、恐ろしいものだと思いました。

また、コミュニケーションについての話もありました。携帯電話やスマートフォンをもっている人もいるだろうけれど、使い方についておうちで話し合っていますか。目の前におうちの人がいるのに、そこではほとんど話をしないで、遠くにいる友達とばかりつながろうとしてはいませんか。もちろん、それらの機器は便利なものだし、上手に使うのはいいことだけれど、それよりも今そこにいる人、顔が見える人とのかかわりをもっと大事にしてもいいのかなと思います。



トラブルにまでは発展しなくても、パソコンや携帯電話からは様々な問題が出ています。講演で聞いた例が「他人事」ではなくなってしまうこともあるかもしれません。もう一度、それらのものとの付き合い方を、よく考えてみましょう。

連載「働くこと」その

何とか希望通りの大学へ入ることができ、これで教師への道が確保されたと考えていた。3年生では小学校に実習へ行き、とても楽しく過ごせたこともあって、もう自分は教師になるのだと確信していた。ところが4年生で行った中学での実習は小学校とは全く違っていった。生徒は全然話しかけてくれず、距離があるままだった。さらに教える内容も難しく、授業も散々だった。自分には教師になる能力がないんじゃないか、実習後、初めて教師への思いが揺らぎ始めた。

自信を失った実習からわずか2か月後、教員採用試験を受けた。1次試験は合格。やはり自分は教師になるんだと根拠のない自信をもって2次試験に臨んだ。 つづく